第6巻



軍師 黒田官兵衛伝

【くろだかんべえ】

Gunshi Kuroda Kanbee-den

重野なおき

Shigeno Naoki

YOUNG ANIMAL COMICS



重野なおき

Shigeno Naoki

たいして強くないけど
将棋アプリは
ほぼ毎日やっている。

Cover Design:Kohei Nawata Design Office

YA COMICS

軍師 黒田官兵衛【くろだかんべえ】伝

6

重野なおき

C O N T E N T S

特別編 信長様を超えるには …… 3
97 軍師海を渡る …… 8
98 いきなり大激突？ …… 14
99 脱兎の軍師 …… 20
100 これぞ関白宣言 …… 26
101 さらばコウモリ大名 …… 32
102 東奔西走関白 …… 39
103 軍師も天災は読めず …… 46
104 従属外交と友との別れ …… 52
105 九州をどげんかせんといかん …… 58
106 物語は西のまた西へ …… 64
107 過去の合戦は水に流して …… 71
108 島津を止めるのは誰だ …… 77
109 九州は島津兄弟だけじゃない …… 83
110 この川渡るべからず …… 90
111 関白は遅れてやってくる …… 96
112 圧倒的根白坂 …… 102
113 西日本制圧完了 …… 108
114 征伐よりも統治が大変 …… 115

あとがき …… 121


舞台は天正十三年
時代が信長から秀吉に移り三年
秀吉飛躍の陰には天才軍師・黒田官兵衛がいた――
特別編
信長様を超えるには

近しい者には常識



そりゃ仕方ない



投票やりたい



よくそれる



出すわけがない


四国攻めの讃岐方面軍はお主の手腕にかかっておる頼むぞ!!
ははっ!!
スッ・・・
殿 お話は済みましたか?
おー ねね!! と 光殿!!
そっちも仲良うしてたか?
はい 光ちゃんに料理を伝授してました!!
て 光殿 官兵衛に出すのは四国攻め終わってからね!!

得た宝


では城に戻り戦支度に移ります
失礼いたします
遠回りして帰るぞ
もう!!
目薬はともかく… 官兵衛の軍師としての実力は本物だ
信長様… ワシはあなたを超えられない
でも官兵衛と二人でなら超えられる
今はそう確信しております

官兵衛は
この少し前に
荒木村重（あらきむらしげ）と
再会している





いよいよ四国長宗我部攻めに向かう!!
97 軍師海を渡る
よっしゃー久々の戦だぜ!!
おーうおー
やれやれ騒がしいヤツらだ
夜が騒がしい
燃えてきました!!
殿も寝言で「ここは奇襲を!!」とか「ふふふ罠だ!!」って叫んでるじゃないですか
そうなの?バラすなよ!!

危ないっスよ



勝つには勝つ



敵がいない



「え」じゃなくて



空から筒抜け



素晴らしい人選



しっかり!! 長宗我部家



訓練しましょう

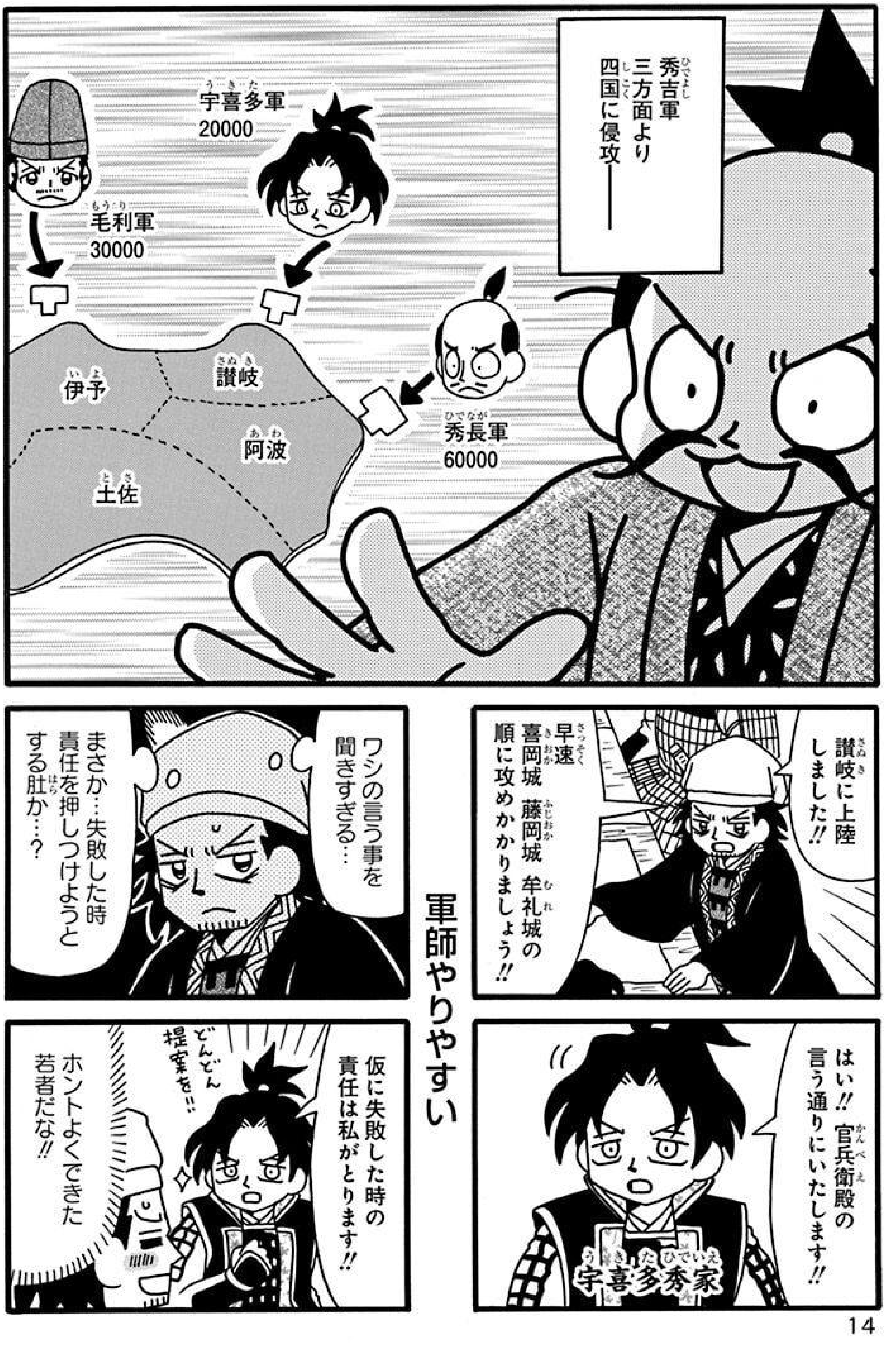


沈黙の君主



四国の王vs軍師





秀吉軍三方面より四国に侵攻――
宇喜多軍
20000
毛利軍
30000
秀長軍
60000
伊予
讃岐
阿波
土佐
軍師やりやすい
讃岐に上陸しました!!
早速喜岡城 藤岡城 牟礼城の順に攻めかかりましょう!!
はい!! 官兵衛殿の言う通りにいたします!!
宇喜多秀家
ワシの言う事を聞きすぎる…
まさか…失敗した時責任を押しつけようとする肚か…?
仮に失敗した時の責任は私がとります!!
どんどん提案を!!
ホントよくできた若者だな!!

がんばれよ!!



ゆがむなよー



名将たちが相手



どうやら讃岐方面は手薄のようです
つまりどこかに割をくっている方面があるという事
一宮城
阿波
牛岐城
どどん
谷忠澄
香宗我部親泰
割をくった阿波方面大将羽柴秀長
他んトコ行ってよー
オー
ウォー

はい



しかし敵の増援が全く来ないのも気になる…
長宗我部元親は讃岐を捨てる気か?
少し周辺を探ってきます
はい
周辺に玲珠膏を広める気ですね?
ちがう!! 地理を調べるのだ!!
あ!! そんで新種の目薬の木とか探すんスか?
ワシそんな目薬バカかなあ…

いいのがあった



話には聞いてたが 本当に四国は 山だらけだな…
敵の動きが 把握しにくい
奇襲には 気をつけねばな…
太兵衛ー 忘れずに 持ち帰れよ
へーい
新種の目薬の木
結局見つけてる…

分析中



この先の植田城には 二千の長宗我部軍が 立て籠っていますだ
付近の農民
二千… 多いな
西の白地城には さらに多くの兵が 集まってるらしいし…
ああ 元親の本陣が あるってウワサじゃな
こんな状況か…
宇喜多軍 20000
植田城 2000
白地城 元親本陣
つまり元親が 考えている作戦は…
だとしたら… やっかいな事に なりそうだぞ…

元親の決意



四国の王動く



全員出撃


ザッ
我らが四国を守りきれるとしたら
この奇襲を成功させるしかない!!
ザッ
ついて来い!! 息子よ!! 家臣よ!!
ザッザッ
ザッ
コウモリたちよ!!
キキキィー
来ると思った…
恐い… キモイ…

軍師も動く


確信しました!! 元親の狙いは
我らをあえて植田城まで深入りさせ奇襲で一網打尽にする事!!
ざわっ
元親自ら来るのか…
官兵衛!! 大丈夫なんだろうな!!
ご安心を
この戦もすでにワシの掌の上です
ここで官兵衛は諸将に向かって驚愕の作戦を提案する——



四国の王
長宗我部元親
官兵衛のいる
宇喜多秀家軍へ
向かって奇襲を
敢行する
99 脱兎の軍師
ドド
ドドド
徐かなること
やはりコウモリの
ごとく!!
え
何にでもなれる
風林火山ふうに
言うならば…
疾きこと
コウモリのごとく!!
侵略すること
コウモリのごとく!!
動かざること
コウモリのごとくだ!!
全部コウモリに
しちゃったー!!

失うものが大きい



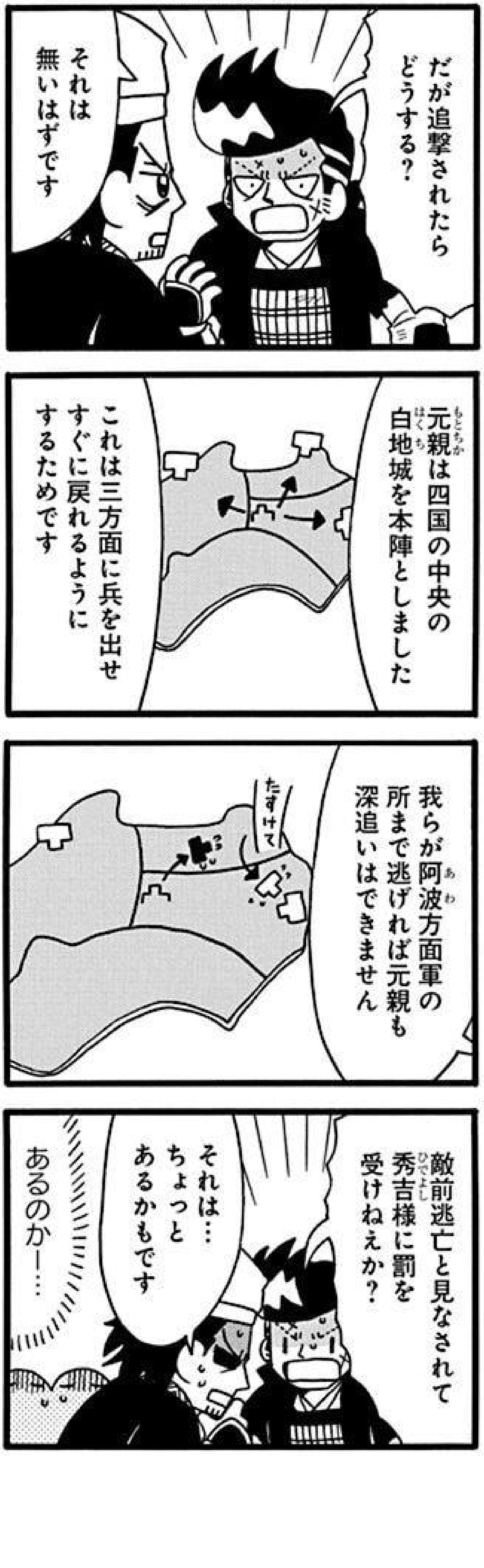
精進します



刻が無いってば



印象悪い



ありがてえ…


逃げても他の城を奪って挽回すればいいのです
この四国征伐で大事なのは!!
長宗我部軍とまともにぶつからない事です!!
この兵力差なら無理せず少しずつ城を落としていけば必ず制圧できるのです
——もっとも
決断するのは宇喜多秀家様ですが!!
従います退却です!!
この素直さが最大の功績!!

不発の勇気


ドドドド…
そろそろ宇喜多軍の囲む植田城だ!!
長宗我部軍の強さを見せてやる!!
申し上げます!!
?
宇喜多軍が見当たりません!!

そんな言葉は無い



いずれわかる



天下人との差



賞賛の裏側




官兵衛たちが四国を攻略中に
秀吉に大きな昇進話が持ち上がる
関白？
100 これぞ関白宣言
超いろいろありまして いかがでしょう
関白は朝廷における官位の頂点!!
しかも「公家」と「寺社」の支配権を持っている…
やっかいなこれらを抑え込む事ができる!!
毒殺疑惑
受けない手はない!!
ゴクリ
朝廷からの御使者におそれながら私の料理を…
やめてー破談になる!!

東の代表



叩いていいよね



クセで言いそう



皆から影響



状況も内容も


長宗我部家
白地城
木津城
落とされました!!
滑山城
陥落!!
高尾城主
金子元宅殿
お討死!!
ズ ズ ズ ズ
長宗我部領が次々と
奪われて行く…
まさに敵も
さるもの…だな
秀吉だけに…
全然
笑えない…

来てた


だが阿波方面の
牛岐城には
香宗我部親泰様がいる!!
親泰様なら
防いでくれるはず!!
うむ!!
叔父上なら!!
智勇に長けた
おー
おー
もう負けたのに…
入りづらい!!

打つ手無し


すまん!!
牛岐城も
落とされたー!!
んげ
いや まだだ!!
一宮城には
九千の兵で谷忠澄殿が
守っている!!
まだやれる!!
やれるぞー
我々が勝てるとすれば
あの奇襲を成功させる
事だった…
忠澄
降伏しろ
おまえなら
わかっているはずだ
ワシの真意を

終局へ


谷様
お味方の城が
次々と降伏しています
ここで我らが
頑張ったとて
何になりましょう…
多くの者の
考えが変わりつつ
あります
頃合いですね…
わかりました
城を明け渡し
ましょう
長く粘った
谷も降伏し
谷は元親説得のため
白地城へ向かう

人の事言えない



戦うしかなかった




秀吉側からすれば
あっけない戦い
だろう
だが長宗我部から見れば
血と涙で
積み重ねたものを
捨てねばならない
苦渋の戦だ
101 さらばコウモリ大名
――以上のように
もう勝ち目は
ありません
降伏し豊臣政権下で
生きるべきです!!
重臣たちも
だいぶわかってくれた
ようですね…
やる気満々
くっ……
キ
パ
コウモリの説得って
どうやれば
いいのでしょうね…

絶望するよね



待て!! だったら…
土佐本国にて決戦し負けたら降伏すればいいだろう!!
福留儀重
それは最悪の考えです
んがあ?
それは…
休日に起きたらもう夕方だった!!ってくらい最悪です
最悪の度合いはどうでもいい!!

通じた



今降伏すれば元親様は命までは取られないでしょう
しかし土佐本国に追いつめられてからでは許されない…
切腹を命じられると思われます
後の北条家の末路を見ればこの推測は当たっていたと言える
福留殿…無念だが谷殿の言う通りだ…
コウモリたちもようやくわかってくれたようだ…
キキー…
ワシ コウモリより わからずや?

納得完了



せめてクジラで



軍師だからやばい


開戦より約二か月
四国征伐は終了する
「土佐は安堵するが
伊予・讃岐・阿波は没収
人質も提出せよ」
──というのが
表向きの条件です
…つまり裏の
条件があると？
「目薬ひろめて」
との事です
…変なのが
いるようだな

完敗


忠澄 よくぞワシの
真意をわかってくれた
殿は初めから戦は
避けたかった…
しかし四国を制覇し
勢いづく家臣を
まとめるには
戦うしかなかった
辛いものですね…
大名というのは
うむ だが勝つ見込みが
全く無いわけではなかった
毛利の大軍と
奇襲を見破られた事が
誤算だった…
つまりワシは
外交で秀吉に負け
軍略で黒田官兵衛に
負けたという事だ…

三百年後に来る



英雄の時代の終わり



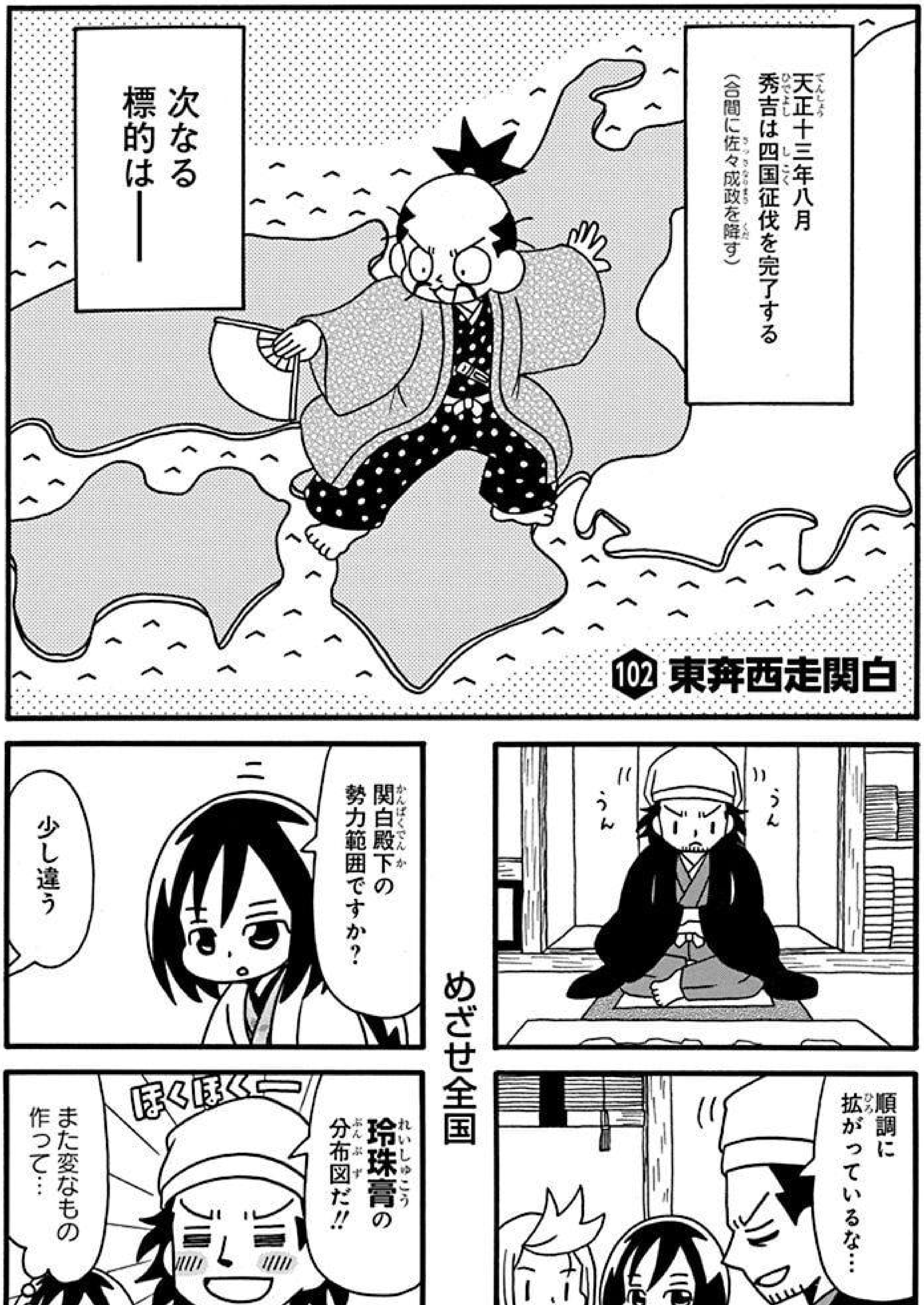
再出発


皆と共に…
見た事も無い
新しき時代を
生きられるのだ
そして…やる事は
決まっている
家を盛えさせ
国を富ませ
長宗我部の土地は
日本一の楽土と
世に知らしめてやる
新たな戦いの
始まりだ!!
これからも頼むぞ!!
忠澄!!

何の使者ですか


はい!!
敗れたのに元親様が
ひと回り大きくなった
ように見える…
パタ
パタ
パタ…
コウモリたちが
去っていく…
「あなたはもう
コウモリ呼ばわりされる
男じゃない」…
という事か
フッ…
そういう役割だったの?
ただの面白要素じゃ
なかったの?

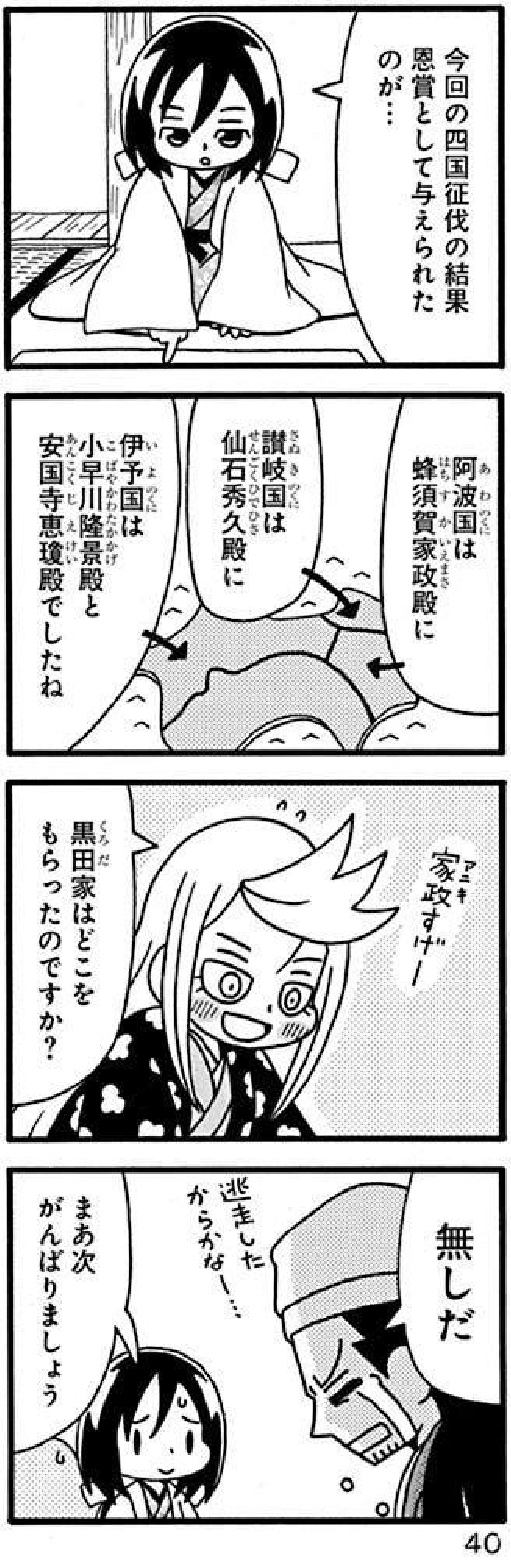

元親は
その後 何度か上洛(じょうらく)し
秀吉の信頼を得る
ただ者では
ないな!!


天正十三年八月
秀吉は四国征伐を完了する
（合間に佐々成政を降す）
次なる標的は――
102 東奔西走関白
めざせ全国
うん
うん
関白殿下の勢力範囲ですか？
少し違う
順調に拡がっているな…
ほくほく――
玲珠膏の分布図だ!!
また変なもの作って…

アイデンティティ



がんばったのに



そういう段階


でもよー 蜂須賀家も大変だな
阿波国は荒れてて治めるの大変だって聞いたぜ
いっそ断って他の土地をねだった方が…
太兵衛
今後 その考えは危険だ
殿下は政権を盤石なものにするために多くの「国替え」を考えておられる
不満を言う事は許されない
どんな功労者でも改易(クビ)もありえるぞ
あわわわ 酒のめなくなる

要改良


元々黒田家はワシの祖父の代に近江からこの播磨に移ってきた家…
父上
それゆえに身をもって知っている
どこの土地であろうと努力次第でやって行ける事をな…
ものすごく寒い土地でも?
目薬の木が育たないかも!!
なんとなく!!
それはイヤだ!!

昔からそんな感じ



因縁の相手



根に持ってる


徳川だろうなー
あ この頭巾似合ってる？
ヤツら四国征伐の時一切協力しなかったし!!
和睦したはいいが従う気は毛頭無いらしい
そうでしょうな
小牧・長久手の戦いの結果徳川の方が強いと思ってますからね
ちょーっと局地戦で勝ったからって!! あームカツク!!

勧誘成功？


しかし!! 我らの方が強いとわかってる者が徳川家に二人いる!!
家康自身と…
徳川家の外交官
石川数正!!
殿下が家臣にならぬかと誘っていた…
この石川数正が本当に我らの方に寝返るかもしれぬ!!

本当に悲しかった



天から見守る




石川数正が寝返ったああああー？
ずもっ


徳川家に激震走る!!
重臣・石川数正が秀吉側に寝返ったのである!!
黒田家が終わる
そんな事が…
家康は辛いだろうな
長年 片腕として側にいた者が寝返ったのだから…
黒田家で言ったら…
光様が他の男と駆け落ちした!!みたいな?
ゴバァ
無礼な例えやめろー!!
殿も想像で死なない!!

たぶん全国


ばん
よくぞ来た石川数正!! この秀吉のために尽くすがよい
ははっ…
さあ!! 徳川家の情報をすべて話すのだ!!
軍事!! 政治!! 何でもだ!!
あ 家康の脱糞グセとかはいいからね
もー知ってる
他大名にまで知られてるのか… お気の毒に

高かった


殿下 情報はうのみにしない方が
まだ石川殿を信用するのは危険です
そう思われても仕方ないか…
案ずるな ワシは騙されぬよ
人の心を読む事で天下人になった男だぞ
いざとなれば怪しい商人から買った「うそ発見機巧」を使うし!!
うそ ほんと
もう騙されてる気がする…

他に使え!!


徳川家
岡崎城の改修は進んでいるか?
はい!!
徳川の情報が筒抜けになった今…
秀吉はすぐに攻めてくるぞ!!守りを固めねば!!
できました!!総石垣の厠!!
おおーこれなら安心して便を…
じゃない!!
殿専用

普通にヤバイ


石川数正寝返りの理由は謎が多く
石川殿が出てったのは家康様の密命らしいぞ
なるほど秀吉を側で都合よく動かすためか!!
という説もあるが
そんな無茶な策のために重臣手放すわけないだろー!!
ここでは「家中に居場所を失くした説」でいきます

一大決戦へ



寝返りからすぐ



致死量あり



全集中の口吸い



現代まで続く


うわあ…
この地震により秀吉領内は甚大な被害を受ける
あ
…
そういえば琵琶湖でナマズが暴れてたっけなー…
後に秀吉は手紙の中で地震をナマズに喩えたという
なまず大事…と
一説によるとこれが「ナマズが暴れると地震が起こる」の出所ともいわれている

天運あり


対徳川の拠点にするはずだった大垣城も倒壊したそうです…
復興の費用も莫大なものに…加えて今年は飢饉です
殿下これはもう…
うむ…
徳川攻めは無し!!
家康は天災により窮地を脱する


年を越え
天正十四年
（一五八六年）
この年 秀吉は
「豊臣秀吉」となり
天下統一に向け
邁進する——
104 従属外交と友との別れ
優先疑惑
カーン
コーン
大地震で徳川攻め
どころではなくなった…
黒田領内の復旧は
進んでいますか？
ああ
ぬかりなく——
殿!! 目薬工房
すべて再稼働させました!!
ちゃ ちゃんと
他もやってるぞ!!

かなり無理矢理



いつか来る



わかるけど



すんなり行かせて



なりふり構わず



そういう御方だった



男の旅立ち


秀吉…
おまえは…
万民に愛される統治者に…
なる必要なんかねえぞ
どうせおまえをわかってくれるヤツなんてひと握りだ…
足を引っ張るヤツはどうしても出てくる…そんなもん振りほどいて進んじまえ…
そして登り詰めろよ
織田信長でも届かなかった真の天下人へな
殿!!
殿ー!!

無二の友


人知れず逝ったか…
小六らしい最期だのう…
小六ぅ――
おまえと飲む酒がワシは一番うまかったぞ――

秀吉がキレる



とにかく強い




天正十四年
秀吉は徳川との
交渉を進めつつ
九州にも目を
光らせていた
島津家である
九州は
島津・大友・龍造寺の
三つ巴が続いていたが…
龍造寺
大友
島津
因縁になる地
今や島津が
九州一の勢力——
というのが現状だ
次は九州か——
島津が耳川の戦いで
大友を
沖田畷の戦いで
龍造寺を破り
日本の端っこまで
攻めこむのかー
大変だなあ
その端っこに
永住する事に
なるんですけどね
黒田家は

島津だから



考えるのやめよう



十字ばっかり



直接お願い



規格外兄弟



本番は神社で引きます



前線＆回復役



殺る前に死ぬ



※信長は馬上で眠っていたそうです



一心同体ではない




九州統一を目指しつつ…
やがて来る秀吉とも戦うという構えでよいいな？
応!!
長男 島津義久
次男 義弘
三男 歳久
四男 家久
自分が一番
オイの「雄武英略」で秀吉に勝つ!!
オイの「智計」で退ける…
オイの「軍法戦術」でぶっ潰すぜー!!
雄武英略だ!!
いや智計だ…
軍法戦術に決まってる!!
結集すればいいだろうがー!!

なぜ他人事


戦と決まったんなら早速準備してくるぜ!!
ヨロ…
オイは…まず休む…
どたどた…
まったく…あつかいづらい弟たちだ…
ホントになあ!!
義弘も入ってるんだけどな…

すごい確率


で
兄さぁの本心はどうなんだ?
戦いたく無いんじゃねえのか?
…そんな事は無い
私のクジも「戦うべき」と出た
…十回目で
それ神様止めてねえか?

何回引けるんだ



また揉める



信頼の証


ばん
秀吉様は何と？
うむ
「筑前検使」として毛利軍を率いて九州を攻めよと…
筑前検使…毛利軍を率いて…
という事は…
九州攻めの大将と言ってもいいのでは…
ど大役だー!!

なぜ言うし


正確には筑前方面からワシと毛利軍が
黒
仙
豊後方面から仙石秀久殿と長宗我部軍が攻め入り…
後から来る秀吉様のために地慣らしをしておく役目だ
——だが大役なのは間違いない
我らが負ければ島津が勢いづく
地の利は向こうにあり
我らが率いるのはこの前まで敵だった毛利軍…
あ 九州に博多ってデケエ商いの町あるんスよね
バカ!!
全部無視して目薬売りたい!!

増える予定



やらかしそう…（やらかす）



話が進む


まあ官兵衛には毛利
仙石には長宗我部が
付いてるし万全だな!!
だが毛利の…
特に吉川元春は
大の秀吉様嫌いだ
出陣前に様子を
見に行くか…
毛利家
吉田郡山城
ばーん
元春は病に伏せっており
「勝手にやってくれ」
との事です
こっち的には
ツイてる!!

軍師九州へ


臣従した以上
協力は惜しまないのが
私の考え
共に九州を
攻め取りましょう!!
おお…
智将・小早川隆景殿が
仲間とは心強い…!!
ですが島津は強い…
一筋縄では行きませんぞ
ご案じ
めされるな
秀吉様の強大さあっての
策ではありますが
この戦もすでに
我が掌の上です!!


仙石秀久だ!!
よろしく!!
秀吉様の
家臣の中でも
かなりの古株だぜ!!
リー!


107 過去の合戦は水に流して
では聞かせていただきましょう…
九州攻めの策を!!
毛利家武将
小早川隆景
秀吉様嫌いの吉川元春が病で不在なのは好都合だが…
ぼん
吉川元長
秀吉は信用ならん!!
同じ考えの息子がいたか…
よく似てる

言わせておけない



拍子抜け



大きな違い



はん!! その程度の事
ワシでも考えたぞ!!
天才軍師が聞いてあきれ…
スッ…。。。
その程度で
あるわけがない
続きがある
のでしょう?
もちろん!!
さすが
小早川殿
も もったいつけるな
早く言ええ!!
策は書状の
内容です
すぐに寝返りを
求めるのではなく
「秀吉様が出陣したら
寝返ってくれ」と
書くのです

見直した



?
なるほど…
筑前の小大名たちは
島津が恐くて
こちらに付く事が
できない…
ならば土壇場での
寝返りを予め
認めておけば
皆 安心して密約を
結んでくれる事でしょう
ぴしっ。。。
あ
姿勢を正した…
わかりやすい

尊敬した


さらに!!
いくつかの密書を・・・・・・わざと落とします
それを目にした小大名らは隣国がすでに寝返ってるかもと疑う…
身動きがとれなくなるとともに…
自分も寝返ろうかと思い始める事でしょう!!
官兵衛殿!! 今夜は語り明かしましょう!!
敬語になって酒と飯出てきたー!!

智将コワイ


島津との全面対決はさけます
あくまで落とせる城だけ落とすと
……
正直少し疑っていましたよ
秀吉殿は強引に毛利を島津にぶつけて共倒れを狙っているのかもと…
ふっ
臣従した者は大事に扱う…それが秀吉様です
ふふ
仮に毛利家が天下を狙うようならちょーっと意地悪しますけどね
ふふふふふふ
いやーありえませんし意地悪されても避けてみせますぞ

遠ざけよう



毛利うらやましい



旧友たちが



殿 島津は強敵です
慎重に行きましょう
うむ 我らの役目は
あくまで先遣隊
関白殿下の臣として
忠実に役目を
こなすのみだ…
ふふ…コウモリと
たわむれていた日々が
今となっては懐かしいな
殿…
コウモリって食えんのか?
なんかたくさんいたぜ
キーキー
わー

いい所だ!!



行けい官兵衛よ!!
仙石よ!!
ワシも
後から行く!!
九州攻めじゃ!!
ザザー
九州は兵も民も
獰猛と聞く…
人の命を
何とも思わず
血に飢えた
餓鬼のごとくとか…
秀吉軍の兵たち
そう思ってる
らしいです
そこまでじゃねぇわ!!
九州を修羅の地
あつかいすんなー!!


官兵衛
毛利軍と共に
九州上陸――
――の
少し前に
島津軍は
九州征圧に向け
出陣していた
久々だなあ
クジ引いてねぇ
兄さぁ見るのは
そんなに
引いてるのか……
どこにしよう
じー
真剣に引く時の
神社の位置を
確認しているのだ
やっぱり
引くんかい!!

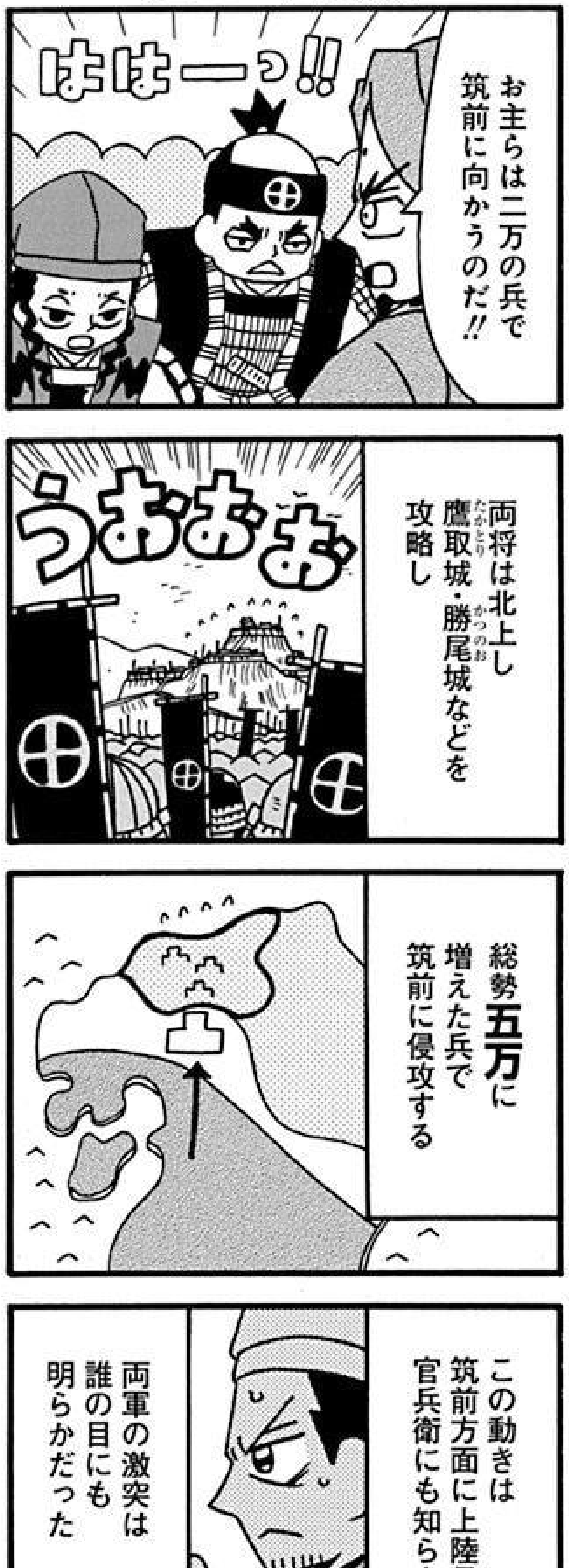
通じるわけがない



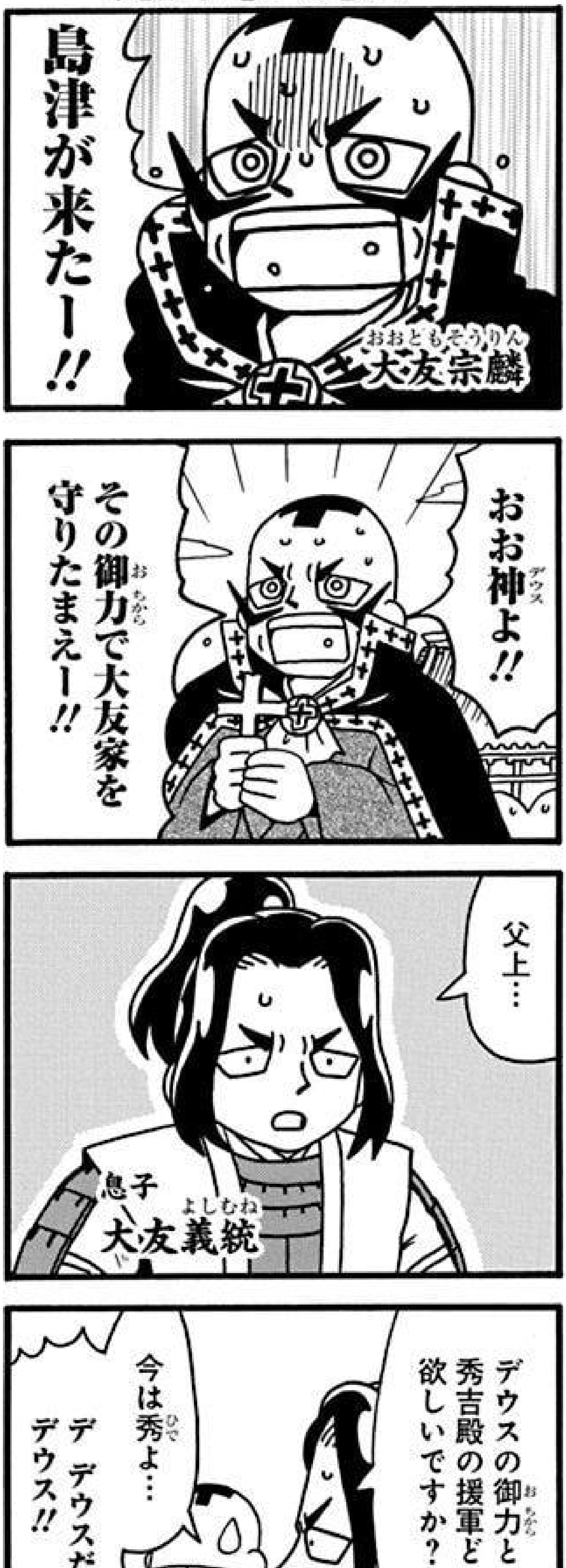
がんばりますから



近づく脅威



現実的な方が…



あくまで一説



いずれ知る



そろそろヤバイ



宗麟感涙



忠烈の士



くそー!! 島津が城攻めが下手だったからではないぞ!!
ぴゅ——
あの二人がすごすぎたんだ!!
衰退した大友家だが—— まだ二人の名将が残されていた
岩屋城にて わずか七百の兵で 島津軍五万を 足止めし
逆に四千の被害を与え
最後は自害して果てた高橋紹運と

名将中の名将



その実子
弱冠二十歳にして立花山城を守り抜き
立花山城
岩屋城
後に秀吉から「鎮西(九州)一」「西国無双」と賞賛される
立花統虎(宗茂)である



立花統虎は立花山城を守り抜いただけでなく
島津の主力が退くと攻撃に転じ
逆に高鳥居城岩屋城を奪い返す離れ技を見せる
109 九州は島津兄弟だけじゃない
ザッ
立花殿…
そこしか見えない
黒田殿…
援軍…感謝いたします!!
ひどい目の怪我だ…これで治療を
もっとひどい傷あるでしょう!!

相手が悪かった



言いすぎた



針でけえ


だん!!
立花統虎に防がれるとは…
黒田と毛利が来る前に筑前は確実に征圧しておきたかったのに…
兄さぁ…
手ェ切ったろ!! オイが縫うぜ!!
外科医
それどころじゃないし縫うほどでもない!!

早く行きたい


かくなる上は…豊後方面の大友を叩くしかない!!
義弘!! 家久!! 二手に分かれて豊後を攻めるのだ!!
応!!
——という作戦を
霧島山の神社のクジで決めるぞ 急げー
島津家がクジを重んじるのはわかる…しかし刻がもったいねえ

むしろ認識した



いろいろあって



腹は割れない



できない者もいる



現場の判断


島津に
野戦を仕掛ける!!
豊後方面軍
仙石秀久
長宗我部元親・信親
なぜですか!!
殿下は戦をしてはならぬと!!
わかるだろ!!
谷忠澄
すぐそこの鶴賀城の大友軍が援軍を待ってんだ!!
見捨てられるわけねえだろう!!

四男躍動


豊臣軍が動き出しました!!
来たか…
ニッ
ザッ
ザッ
鶴賀城はわざと落とさずにしておいたのさ…
仙石と長宗我部…
相手に不足は無ぇ!!
島津の野戦の強さ見せてやるぜ!!
島津家久


この頃
家康がようやく
上洛(じょうらく)し秀吉に
臣従している
やっと
来たか…
はよ九州
行きたい


戸次川へ渡り
島津を叩く!!
豊臣軍
戸次川
島津軍
鶴賀城
豊臣軍軍監
仙石秀久
長宗我部元親
島津家久
今からでも来て
川を渡る…
それはあまりにも危険ですぞ!!
黒田殿ならこんな無謀な戦はしないはず!!
官兵衛だぁ?
あんなヤツ頭が切れて采配がすげぇだけじゃねぇか!!
充分すぎる!!

いい猪武者



結局ついて来た



獲物を待つ


バシャ
バシャ…
バシャ
家久様!! 豊臣軍が川を渡り始めました!!
あわてんな…
全員渡りきってからだ
……
でないと一網打尽にできねえだろう
うず…

上がる狼煙


島津軍は後方の坂原山に退いたままの様子!!
よし!! さらに進むぞ!!
ドクン
火縄に火を点けさせろ…
ドクン
嫌な予感がする…
島津の戦法のひとつ「釣り野伏」──
一隊が敗北を装い敵を誘い込み伏兵で倒すというもの
この時 家久はそれを応用・拡大し
一万八千の大軍で六千の豊臣軍に四方から襲いかかった

何も落ちて来ないし



まさに猛襲



監視軍団


島津軍の強さは
貧しさゆえの
決死の覚悟――
に加えて
うおおおおお
「五人組」「十人組」を
作り連帯責任を
負わせる事により
卑怯者や臆病者の
発生を防ぐ事にあった
ビビんなよ!!
責任とらされる
じゃねーか!!
オメーこそ
勝手な行動
とるんじゃねぇ
ギスギスするよな
この制度…

九州限定自慢


はははは
どーだぁ!!
これが織田信長を見て
明智光秀と話した事の
あるオイの実力だー!!
また自慢
してる…
え? ワシも
信長公見た事
あるぞ?
あ ワシ
その二人と
話した事ある
ええー?
そりゃ豊臣軍は
そうだよな…

大敗北



長宗我部家の悪夢




島津家久
戸次川の戦いで
豊臣軍（仙石・長宗我部）を
敗る――
えいえいおおー
111 関白は遅れてやってくる
その勢いで豊後国の
中央まで攻め上がる
ズズズズ
これが島津の
実力だぁー!!
輝いた
へっへー
どうだぁ秀吉!!
島津家最後の
大勝利であった
へ？

よかれと思って


ちょうど
その頃
え…
吉川元春が
官兵衛に振る舞われた
鮭を食べ
栄養つけられよ
うむ…
その後 病が悪化し
亡くなったため
官兵衛の毒殺説が
広まってしまう
一幕もあった
ひそ ひそ
ぬれぎぬだーー!!

降臨


一方 戸次川から
命からがら逃れた
長宗我部元親は
嫡男の死で人が変わり
その後は暴政を振るう
ようになってしまったという
戸次川の大勝で
島津が勢いづいている…
まずいな…
そんな中
天正十五年
三月
待たせたな
ワシが出る!!

そっちはもっといる



一刻を争う



深追いも恐いし


島津軍退却の直後
秀吉いよいよ九州に上陸――
ばん
殿下!! お久しぶりです!!
ちなみにこの時
なんで島津逃したの？直々に叩きたかったのに!!
んな無茶な
官兵衛はいきなり秀吉に叱られている

信頼


まーいいか
九州の露払いご苦労であった!!
はい
早速だが秀長に日向方面から
ワシは肥後方面から南へ攻める事にしたが…
官兵衛は秀長と共に行動してくれ
秀吉様とでは無く？
改めてわかったからな
お主なら遠くの地でもワシの考えを理解し忠実に遂行してくれると

激突決定


二手に分かれると兵も半数になる…気を引き締めていきましょう!!
兄さぁ!! 敵は二手に分かれたってな!!
これなら相手になるぜ!! どっちを叩く!!
地形と行軍速度から考えると…
日向方面
弟の秀長と黒田官兵衛の軍だ

すごいけどな


ゴク・・・
そっちは他にも毛利・吉川・小早川の軍もいるらしいぜ…
それでもやるしかない!!
ここで勝たねば島津は終わりだ!!
やったるぜー!! 織田信長を見て明智光秀と語らったオイが!!
また始まった…
さらに豊臣秀吉(の手下)も撃破したオイがー!!
増えた…

休んで治せ



あとは「智計並び無し」の歳久がいれば完璧なんだがな…
ザッ
病で頭が回らん…
ばたん
やっぱいるだけじゃダメだ帰れー!!

弟も優秀



ざわ…
島津義久・義弘・家久が二万の軍勢でこちらに向かっているとの事!!
スッ
大丈夫です島津軍が野戦で敵無しというのなら…
先の四国攻めとこの九州攻めで著しい成長を見せたのが
この秀吉の弟秀長である
野戦を無理矢理攻城戦に変える!!
ですよね軍師殿!!
その通りです!!



島津方の高城を攻撃中の豊臣軍に向け島津軍が接近
戦場となる根白坂に向かう
カーン コーン カーン コーン
112 圧倒的根白坂
得意の土木工事
豊臣軍は根白坂に柵を作ってるな…
カーン コーン
ふん!! 蹴散らしてやる!!
カーン コーン キーン ゴーン ガーン コーン コーン ガーン ガーン
いや…あれはもう砦と言ってもいいな
カーン コーン
やっかいだな…
オイオイどこまで増築するんだ!!
もたもたしてると「城」になるぞあれ!!

自信持って



永遠の二番手



一応まだ将軍



後は任せた



よく見ろよ!!



むしろイヤかも



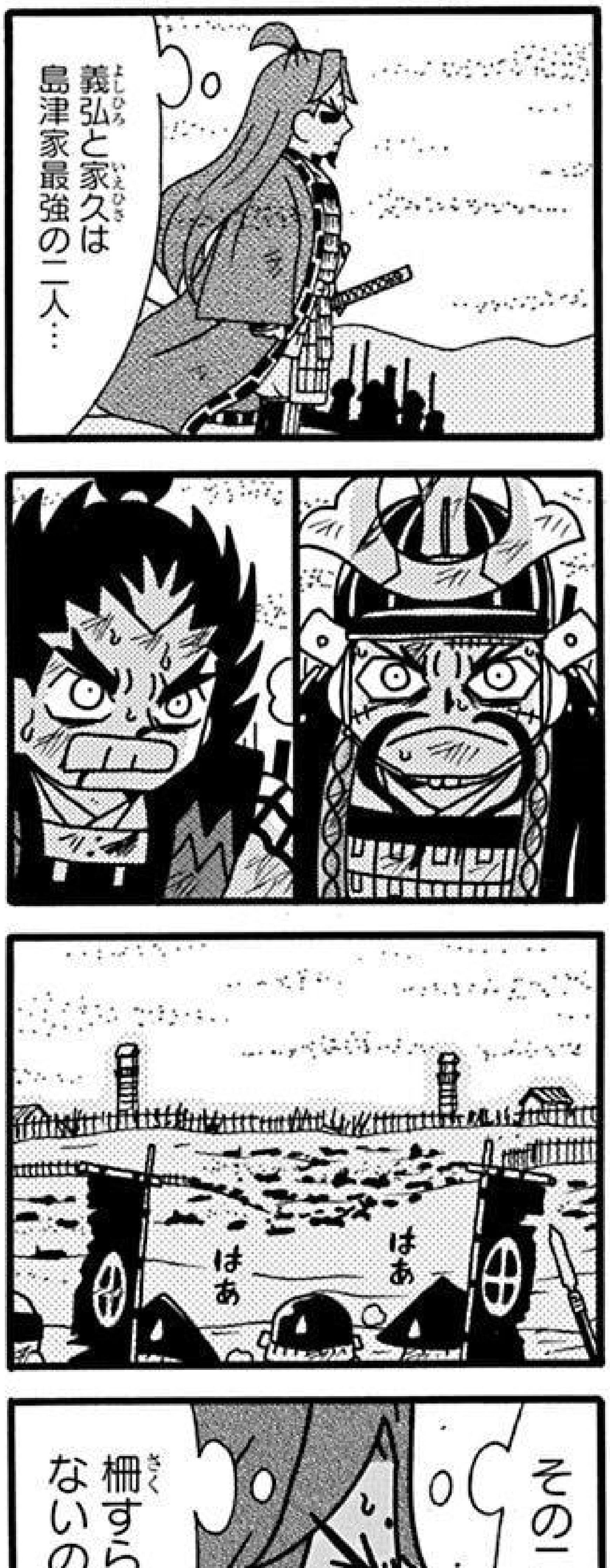
痛みは気合で



銃声は続く



何もかもが違う



当主の責任と決断




島津家当主・義久は秀吉に降伏に向かう
ばさっ
113 西日本制圧完了
家久も降伏に同意してくれた…
やるだけやったぜ
あとなんか体調わるい…
まだ
義弘
戦う!!
歳久
坊主にしたのに
あとは私が秀吉とどのように交渉するかにかかっている!!
二人はそれぞれの城に籠って戦い続けたという
こじれるからやめてー!!

私が困る


義弘様から文が!!
パラ…
兄さぁは先に降伏してくれ
オイたちは戦い続けて豊臣軍を苦しめる
で困った秀吉が島津家に領土をたくさんくれるって寸法さ
そううまく行くかなあ!!

どっち重視？


まったく…本当に扱いづらい弟たちだ…
だが義弘なりに島津家を思っての事なのだろうな…
長男としてその思いに応えよう!!
行くぞ!! 秀吉のもとへ!!
義弘様は「よっしゃこれでまだ戦える」って呟いてましたが…
やっぱり戦いたいだけ？

凶ならビクビク



ギリギリの交渉



いつでもどこでも



きりがない



恐怖の智計



眠る名将たち



がんばれ至難



新たな島津家へ




ダンナも大殿も無事で…
って九州に転封？
みなさーん引っ越しですよー


九州征圧後
秀吉は博多にて
論功行賞（褒賞決定）を
行う
官兵衛には
九州 豊前国の内の
六郡を治めてもらう!!
ははっ!!
余所者に
好き勝手させせん!!
九州人
なめんな!!
反乱上等で
ごわす!!
最悪死ぬ
これまでの倍以上の
領地だ…
しかし
って言ってる小領主
多いらしいんだよねー
もらっても
うれしいと
思えない…

どのみち死ぬ



展開が見える



冷遇？


——という領地配分だ
ちょっと待ったあ!!
太兵衛!!
恩賞が豊前六郡って少なくねえ？
石高（米の収入）にして十万石ちょっとだろ？
小早川のもらった領地は大体七十万石
佐々だって五十万石くらいあるぜ？
これは秀吉が官兵衛を恐れていたためだったと言われている

誤解は解く


しかし
ぶす
久々で油断したあああぁ
馬鹿言うな
小早川殿はすでに伊予国の大部分を治め
もともと差がある
佐々殿も越中一国の大名だ
播磨国の小大名だった黒田家にとって豊前六郡は妥当な恩賞だった
という事だ
よくわかったぜ…

ふりがながひどい



そこまで見ている



準備せねば



官兵衛は光だけ



波乱の新天地



試練が迫る



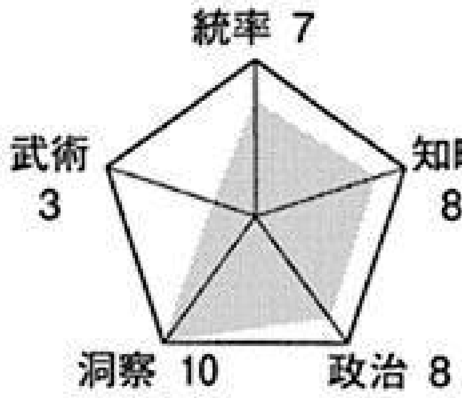


名将名エピソードが多すぎて
取捨選択に困る巻でした。

重野なおき

戦国武将名鑑⑥

谷 忠澄（たに ただずみ）

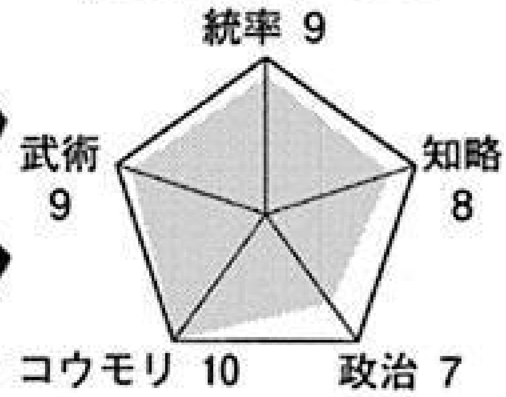


神官が出自の名参謀。





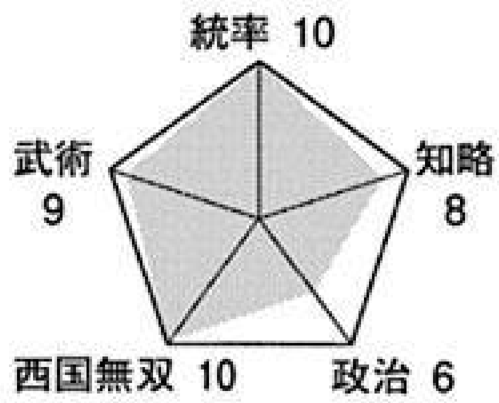
長宗我部元親（ちょうそかべもとちか）



「姫若子（ひめわこ）」「土佐の出来人（できびと）」とも呼ばれた四国の王。

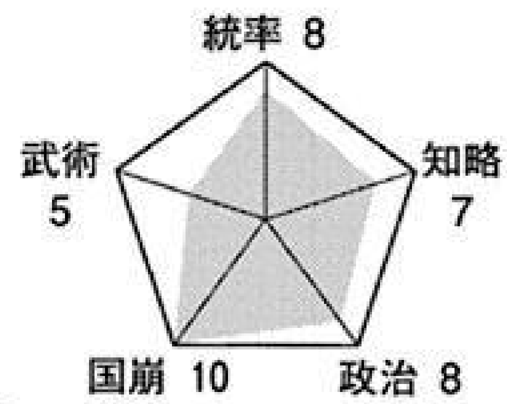


立花統虎（たちばなむねとら）



秀吉に絶賛された若き名将。

大友宗麟（おおともそうりん）



「国崩（くにくずし）」と呼ばれる大砲を戦場で使う。



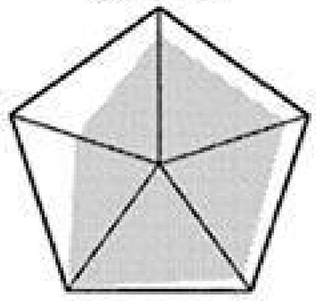
島津義弘（しまづよしひろ）

統率 10
知略 7
政治 6
手術 10
武術 9

島津家次男
「鬼島津」と呼ばれ
恐れられる。



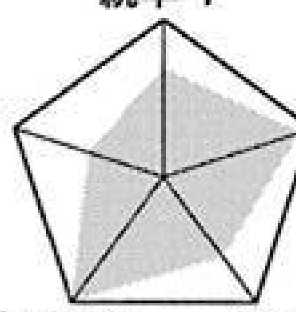
島津義久（しまづよしひさ）



島津家長男
弟たちの扱いに
苦労する。



島津歳久（しまづとしひさ）



島津家三男
酒好きのせいか
病に苦しむ。



島津家久（しまづいえひさ）

統率 9
知略 5
政治 2
旅人 10
武術 9

島津家四男
義弘と並ぶ
猛将。



次巻予告!!

次々に各地で起こる「国人一揆」!

荒れる九州、




どう抑え込む!?
そんな子供の大将のような言い分に従えるか!!
言う事を聞かない部下―!
つらい中間管理職―!
「殿下が宇都宮に転封命令出したからじゃん!!」とか考えてはダメだぞ!!
むっちゃ考えてるじゃないですか!!
怒れる上司―!
官兵衛おまえもか!!
九州を荒れさせるなと散々言ったであろうが!!
九州征伐後、豊前国六郡の大名に出世した官兵衛。
しかし、九州の武士と民を抑えるのは並大抵の事ではなかった。
各地で起こる「国人一揆」、秀吉からの容赦ない命令!
この窮地を官兵衛は乗り切れるか!?
軍師 黒田官兵衛伝 7
Gunshi Kuroda Kanbee-den
重野なおき
YA COMICS B6判/白泉社刊
定価660円(本体600円+税10%)
詳しくはマンガParkおよびヤングアニマル誌上をチェック!!
※2023年3月現在の情報です

明智光秀放浪記

全1巻



日本史上もっとも有名な裏切り
「本能寺の変」を起こした
明智光秀とは何者だったのか…？

白泉社刊／YAコミックス／B6版

真田魂

1〜4巻
以下続刊



戦国最強の一族と呼ばれる真田家！
真田信繁（幸村）と信幸、昌幸、幸隆ら、
家族と真田の土地を巡る大河コメディ！

白泉社刊／YAコミックス／B6版

信長の忍び外伝
尾張統一記

全3巻



齢十三にして本気で国取りを
狙う少年・織田信長の、
尾張統一を描く青春戦国ドラマ！

白泉社刊／YAコミックス／B6版

マンガで攻略！
はじめての織田信長

1〜2巻



日本史講師・金谷俊一郎先生と
歴史ナビゲーター・長谷川ヨシテルさん
による「信長の忍び」を基にした
歴史解説本！

白泉社刊／YAコミックス／B6版

●初出一覧
「ヤングアニマル」
2021年15号
「マンガPark」
2021年 6 月29日公開・ 7 月27日公開・ 8 月24日公開・ 9 月28日公開・10月26日公開
11月23日公開・12月28日公開
2022年 1 月25日公開・ 2 月22日公開・ 3 月29日公開・ 4 月26日公開・ 5 月24日公開
7 月 5 日公開・ 8 月 9 日公開・ 8 月30日公開・ 9 月27日公開・10月25日公開・11月29日公開

YOUNG ANIMAL COMICS
軍師 黒田官兵衛伝⑥

デジタル版

著者 重野なおき
(C) Naoki Shigeno 2023
発行者 島野淳一
発行所 株式会社 白泉社
発行日 2023 年 3月 1日

黒田官兵衛年表

天正十三（一五八五）年

五月　四国征伐開始
官兵衛は軍監を命ぜられる

七月　秀吉　関白に就任

八月　父　職隆　死去
長宗我部元親　秀吉に降伏



天正十四（一五八六）年	五月	蜂須賀小六（ころく）　死去
	七月	九州征伐開始 官兵衛は軍監を命（めい）ぜられる
	十月	徳川家康が秀吉に臣従
	十二月	戸次川（へつぎがわ）の戦い
天正十五（一五八七）年	四月	根白坂（ねじろざか）の戦い
	五月	島津義久（しまづよしひさ）　秀吉に降伏



白泉社